

# 物流センター ロボット化・自動化 構想策定支援サービス

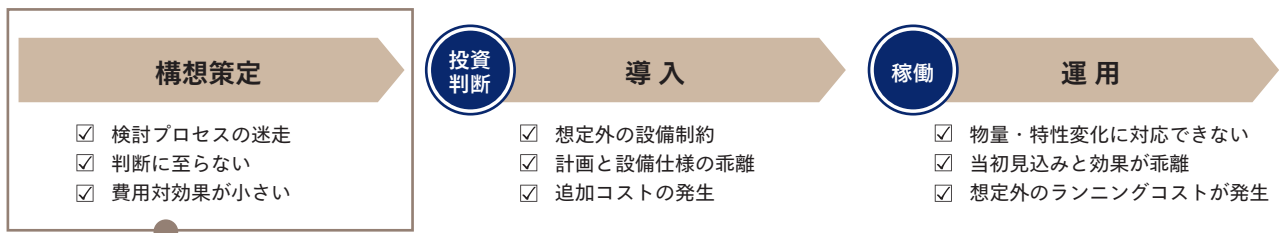
生産年齢人口減少がもたらす労働力不足を背景に、様々な自動化技術が脚光を浴びる機会も多くなり、物流センターにおいても多くの企業が適用の検討を進めています。しかし、これまで自動化設備の導入に慎重だった物流センターにおいて、「自動化設備導入はどのようにアプローチしたらよいか分からない」という声も聞かれます。

本サービスでは、各倉庫・物流の特性や今後の見通しを踏まえ、自動化設備選定のみならず、具体的な運用・工程設計の支援を行い、実効性をもった構想策定のご支援を致します。

## 設備導入において発生する問題

多くの企業において、物流センターへの設備導入は頻繁には起こらない機会であるため、前例も少なく推進に困難が伴うケースが多いのが実情です。設備導入は、投資判断で行き詰まるケース、導入過程で追加投資を余儀なくされるケース、導入後の運用において当初見込みと乖離するケースなど、想定外を招いてしまう可能性が広範囲に潜んでいます。

これらの問題は、投資判断に至るまでの構想策定で実現性の検証が十分にできていないことに起因していることが少なくありません。

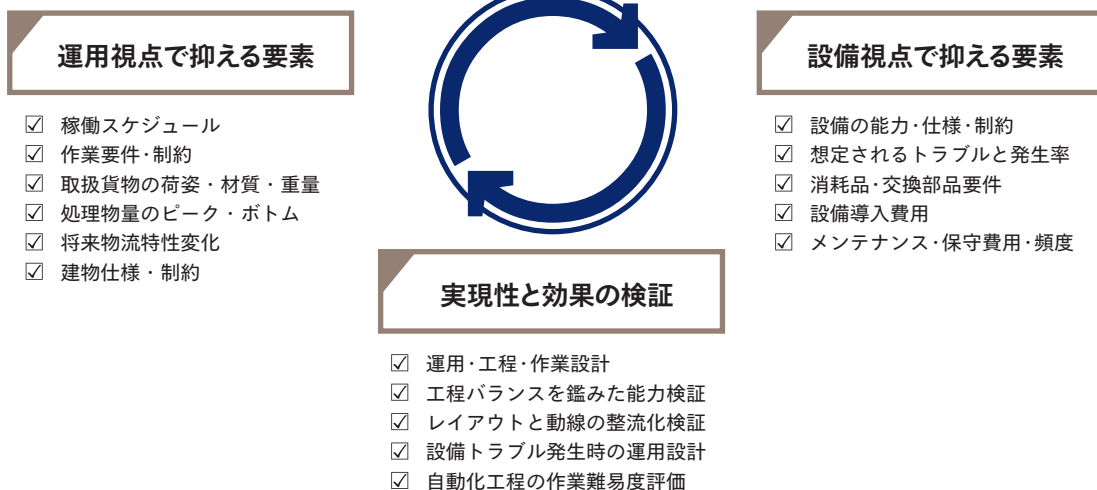


## 投資判断に至るまでの構想策定で実現性の検証が十分にできていない

- ✓ 投資検討のアプローチが定まってない
- ✓ 検討対象設備の不足
- ✓ 活用方法の検討不足
- ✓ 運用・作業設計が不十分
- ✓ 倉庫全体のスループット検証がなされていない
- ✓ 設備仕様・制約の検証不足
- ✓ 修理・保守体制と運用の評価
- ✓ 将来の物量・特性変化に対するシナリオの検証不足

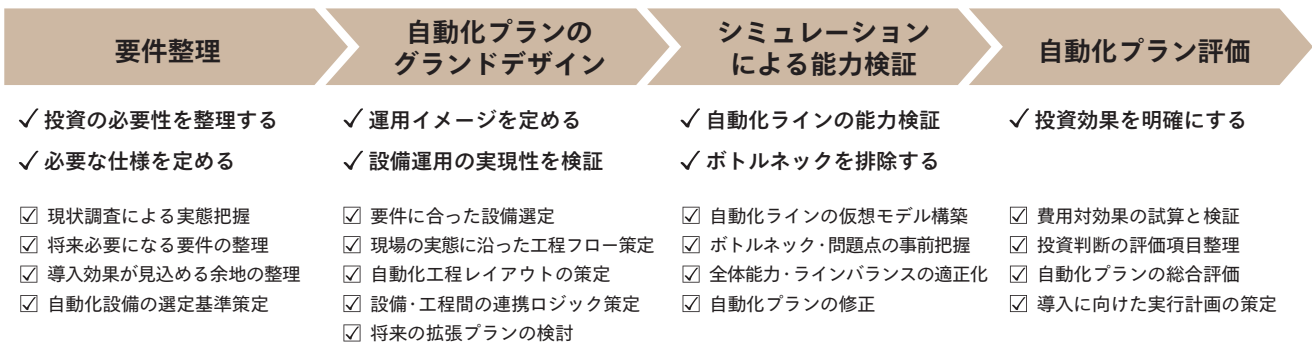
## 成功に導くための重要な要素

設備導入の構想策定においては、運用・設備のそれぞれの特性を洗い出し、実現性と効果の検証をしていく必要があります。実現性の検証においては、設備単体の能力検証ではなく、運用方法や作業方法などの検討を行い、全体のスループットを設計・評価していくことが重要です。

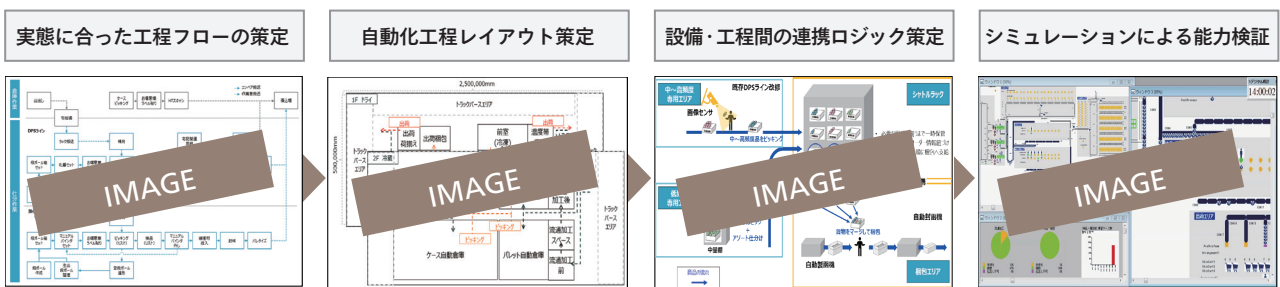


## アビームコンサルティングによる構想策定・実現性検証のアプローチ

現状分析や将来必要になる能力の予測、設備の必要能力の妥当性検証を実施、設備検討と運用のための工程フロー設計を経て、設備投資の費用対効果や運用の実現性を明らかにしていくアプローチで構想策定を支援します。

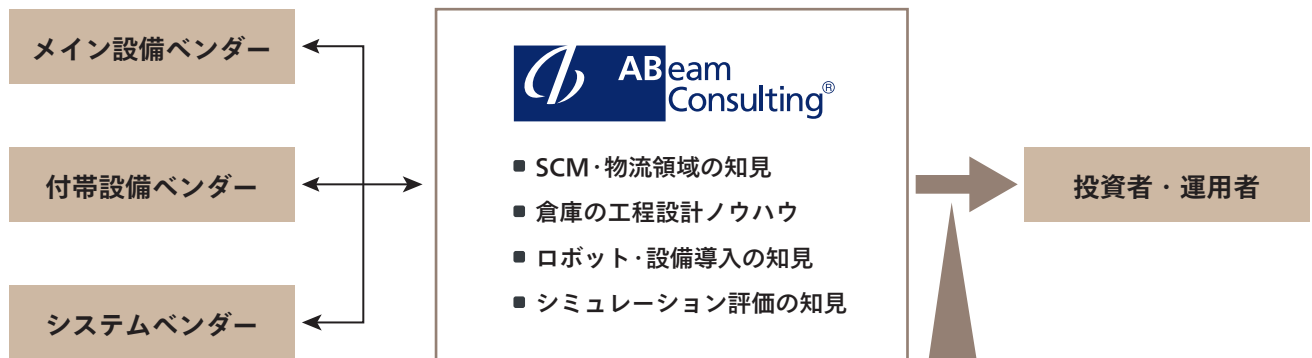


### 設備運用の実現性検証



### アビームコンサルティングの提供価値

設備導入では、運用者と設備ベンダーの認識の違いから検討漏れや検証ミスが発生し、誤算が生まれることが少なくありません。アビームコンサルティングは、物流倉庫の工程設計・自動化設備導入・シミュレーションのスペシャリストたちが横断的にチームを組み、運用者とベンダーを繋ぎ、設備導入の成功をご支援いたします。



### アビームコンサルティングの提供価値

